

■『クエスチョン・バンク CBT 2017 Vol.1 基礎編』

| Page | 問題番号 | 項目 | 誤 | 正 |
|------|------|-----------|---|----------------------------------|
| v | - | 他書籍の参照ページ | 『year note <u>2016</u> 内科・外科編』 | 『year note <u>2017</u> 内科・外科編』 |
| v | - | 他書籍の参照ページ | 『year note ATLAS』(第 <u>5</u> 版) | 『year note ATLAS』(第 <u>6</u> 版) |
| 230 | 369 | 解説c | ～. <u>一方, 四肢の骨格筋は側板中胚葉の壁側中胚葉から分化する.</u> | ～. (2文目を削除) |
| 339 | 668 | 基本事項 | 表3行目2列目(奇形の感受期): 2～8 <u>日</u> | 表3行目2列目(奇形の感受期): 2～8 <u>週</u> |
| 357 | 581 | 解説c | マイコプラズマは <u>真核生物であるが</u> , 細胞壁を有しないため, ～～ | マイコプラズマは細胞壁を有しないため, ～～ |

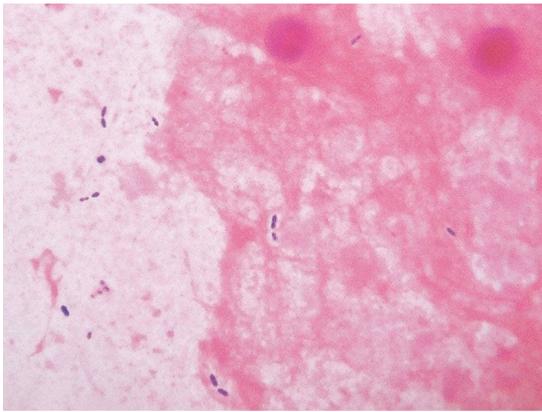
■『クエスチョン・バンク CBT 2017 Vol.2 臨床前編』

| Page | 問題番号 | 項目 | 誤 | 正 |
|------|------|-------|---|---|
| 115 | 170 | 画像診断 |  |  |
| 148 | 217 | 解説e | ×e ～～. <u>水痘</u> , 带状疱疹, 天疱瘡の鑑別に用いる. | ×e ～～. <u>水痘</u> , 带状疱疹, 天疱瘡の鑑別に用いる. |
| 188 | 275 | 基本情報 | ■ 横・ <u>右</u> 前から見た胸椎構造 | ■ 横・ <u>左</u> 前から見た胸椎構造 |
| 239 | 347 | 問題 | e 鎖骨下静脈は鎖骨と第一肋 <u>間</u> との間を走る. | e 鎖骨下静脈は鎖骨と第一肋 <u>骨</u> との間を走る. |
| 453 | 651 | 解法の要点 | アルドステロンは <u>遠位尿細管</u> におけるNa ⁺ の再吸収やK ⁺ , H ⁺ の分泌を促進する. | アルドステロンは <u>集合管</u> におけるNa ⁺ の再吸収やK ⁺ , H ⁺ の分泌を促進する. |
| | | 解説 | Oe アルドステロンは <u>遠位尿細管</u> などでNa ⁺ ポンプの活性をあげるので, Na ⁺ の再吸収の際にK ⁺ を分泌する。(以下略) | Oe アルドステロンは <u>集合管</u> などでNa ⁺ ポンプの活性をあげるので, Na ⁺ の再吸収の際にK ⁺ を分泌する。(以下略) |

■『クエスチョン・バンク CBT 2017 Vol.3 臨床後編』

| Page | 問題番号 | 項目 | 誤 | 正 |
|------|------|------|--|---|
| 116 | 193 | 解説 | 正解 b | 正解 a |
| 243 | 398 | 解説 | ○a エピネフリン皮下注射が第一選択薬となる | ○a エピネフリン筋注射が第一選択薬となる |
| 357 | 594 | 基本事項 | <p>μレセプター→鎮痛, 呼吸抑制, 痒痒感, 依存, 胃腸運動抑制に関連している.</p> <p>δレセプター→弱い鎮痛, 抗うつ, 依存などの情動抑制に関連している.</p> <p>κレセプター→鎮痛, 多幸福感などに関連している.</p> | <p>μレセプター→鎮痛, 多幸福感, 呼吸抑制, 痒痒感, 依存, 胃腸運動抑制に関連している.</p> <p>δレセプター→弱い鎮痛, 抗うつ, 依存などの情動抑制に関連している.</p> <p>κレセプター→脊髄レベルでの鎮痛などに関連している.</p> |
| 370 | 616 | 問題 | c ジギタリス | c プロプラノロール |

■『クエスチョン・バンク CBT 2017 Vol.4 連問編』

| Page | 問題番号 | 項目 | 誤 | 正 |
|------|------|------|---|--|
| 169 | 322 | 基本事項 | 周期性四肢麻痺とは～日本を含め, 東洋人の男性では甲状腺機能亢進症に伴う 低K血症性周期性四肢麻痺 が多い. | 周期性四肢麻痺とは～日本を含め, 東洋人の男性では甲状腺機能亢進症に伴う 低K性周期性四肢麻痺 が多い. |
| 255 | 466 | 問題 | <u>写真(巻頭No.49)が口絵に掲載されていない</u> |  |
| 268 | 483 | 解説 | ×b 甲状腺機能亢進症に伴う 低K血症性周期性四肢麻痺 を考えての質問であろう. | ×b 甲状腺機能亢進症に伴う 低K性周期性四肢麻痺 を考えての質問であろう. |

■『クエスチョン・バンク CBT 2017 Vol.5 最新復元問題』

| Page | 問題番号 | 項目 | 誤 | 正 |
|------|------|-----------|--|--|
| 119 | 118 | 解説 | ○d 淋菌はグラム陰性桿菌である | ○d 淋菌はグラム陰性球菌である. |
| 322 | 333 | 正解 | d | a |
| 359 | 372 | 解説 | × a 加齢に伴う気管支の狭窄, 肺コンプライアンスの低下のため1秒率, 1秒量は低下する. | × a 加齢に伴う気管支の狭窄, 肺コンプライアンスの上昇のため1秒率, 1秒量は低下する. |
| | | 基本事項(呼吸器) | 肺残気量の増加, 1秒率, 拡散能, 肺活量の低下, 肺コンプライアンスの低下 咳嗽反射, 気道粘膜の線毛運動の低下→ 喀痰排泄困難, 誤嚥性肺炎 | 肺残気量の増加, 1秒率, 拡散能, 肺活量の低下, 肺コンプライアンスの上昇 咳嗽反射, 気道粘膜の線毛運動の低下→ 喀痰排泄困難, 誤嚥性肺炎 |